【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

園名:すぎなみのぞみ保育園(3 歳児クラス)
活動日時:6月1日～8月末

1, 活動テーマ

＜テーマ＞

育てた野菜を食べてみる。

＜テーマ設定理由＞

ナスの生長を毎日楽しみにし、大切に育てている様子。苦手な野菜でも自分で育てたナスであれば、興味を持って食べてみようとできるのではと設定。

2, 活動スケジュール

・ナスに水をあげ育てる・生長を観察する。
・収穫し食べてみる。

3, 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

・じょうろ
・図鑑
・みんなで図鑑を見て調べられるよう椅子を並べ静かな環境を設定

4, 探究活動の実践

＜活動内容＞

・前回から引き続き、水やりや生長の観察を行う。
・ナスを収穫し、見たり触れたりしてみる。
・疑問に感じたことを改めて図鑑で調べてみる。
・収穫したナスをどのように食べるか話し合い、給食で食べる。





＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

・大きく育ったなすをみんなで収穫し観察したり触れたりする。「ヘタのところはとげがあったところだから触らないようにね」→「紫のところはつるつるだよ」「なんでとげがあるんだろうね」
→図鑑でとげについて書いてあるか調べてみる。
「身を守る為のとげって書いてあるね」→「虫に食べられないようにしているんだね」と納得する様子。「他の野菜も調べてみようよ！」と保育者に文字を読んでもらいながら他の野菜のページも見る。
・最初に収穫したものを給食で「チリコンカン」に乗せて食べてみる。「おいしい！」「ナスだけ食べるとあんまりおいしくないかも...」とそれぞれが感じた味を言葉にする。ナスが苦手で食べない子もいた。
「どうしたらもっとおいしくなるかなぁ？」→「もっとお水を沢山あげるといいかも！」「もっと大きいナスにしてから食べる！」「お味噌汁に入れたら美味しいんじゃない？」
・その後は前回より大きくなるまで観察しながら育てる。二度目の収穫では中が硬くて食べられなかった。→「おいしいナスって難しいね」「ナスを作っている人はすごいんだね」→「野菜は一生懸命育ててくれる人がいるんだよ」→「じゃあ、ちゃんと残さないで食べたほうがいいね」と育てる難しさも感じていた。
・三度目は良い状態での収穫ができ、味噌汁に入れて食べ、「おいしい」と言葉にしていた。ナスが苦手な子も自分で味噌汁を提案したことで、一口食べることが出来た。

5, 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・ナスを育てているが他の野菜にも興味が出てきている。また、収穫したものを見たり触れたりすることで、気づきや疑問が生まれていた。ヘタのとげについて、子どもたちから意欲的に知りたがる様子もあり、増々野菜について興味が出ていると感じた。野菜は自分で育てているからこそ興味を持っている様子だが、最初は興味があってもナスが苦手な子は食べようとしなかった。その後おいしく食べるためにどのようにしたら良いか考えてみた。様々な提案があり、味噌汁を提案した子はナスが苦手だが三度目の収穫で一口食べることが出来た。興味や自分で食べ方を考えることで食べる意欲は少し出たように感じる。また、育てる難しさも感じ、作ってくれる人への尊敬や感謝の気持ちも生まれているように感じる。